

ホタテガイ採苗速報

付着数は西湾106,857個/袋、東湾376,320個/袋

1 ホタテガイの付着状況

6月8日～11日に行った第1回全湾付着稚貝調査結果は、図1および表1(別紙)のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、西湾で106,857個/袋、東湾で376,320個/袋と、いずれも過去10年の平均値(西湾36,020個/袋、東湾125,278個/袋)よりも多くなっています。

稚貝の平均殻長は、西湾で0.64mmと、過去10年の平均殻長(0.80mm)よりも小さいサイズとなっていますが、東湾では0.60mmと、過去10年の平均殻長(0.65mm)とほぼ同じサイズとなっています。

2 キヌマトイガイ等の付着状況

キヌマトイガイの付着数は全湾平均で23,368個/袋、ムラサキイガイの付着数は全湾平均で8,505個/袋と、いずれも過去10年の平均値(それぞれ36,033個/袋、20,107個/袋)よりも少ない状況です。

3 ホタテガイラーバ等の出現状況について

6月6日～11日に陸奥湾9定点で第11回湾内一斉ラーバ調査を行った結果、ホタテガイラーバの出現数は、西湾平均で191個/トン、東湾平均では756個/トンと、前回(それぞれ381個/トン、1,303個/トン)よりも減少しました。200ミクロン以上のラーバの割合は西湾平均で94.1%、東湾平均で99.6%、260ミクロン以上の割合は西湾平均で76.6%、東湾平均で89.8%でした。

ヒトデのラーバは全湾平均で1.0個/トンと過去10年の同時期の平均値(10.8個/トン)よりも少なく、付着直前のブラキオウリア幼生は見られませんでした。

4 試験採苗器への付着状況

ホタテガイの付着数は、水産総合研究所の久栗坂実験漁場では3層平均で17,621個/袋(8日間)、川内実験漁場では3層平均で38,827個/袋(9日間)でした。

5 海況

各ブイの6月5日～11日の平均水温は表2のとおりです。平年と比較すると、平館ブイの15m層でやや高め、青森ブイの15m層で平年並み、東湾ブイの15m層でかなり高めとなっています。

6 今後の見込み

西湾でもホタテガイの付着数が多いことから間引きの準備をしてください。

湾内の早い所で6月下旬から間引きができる見込みですが、間引き時期の詳細な情報については、6月19日～22日に臨時付着稚貝調査(中層1袋)を実施し、6月24日発行予定の採苗速報第12号に情報を掲載しますので参考にしてください。

7 お知らせ

湾内一斉ラーバ調査は今回で終了します。

また、第2回付着稚貝調査は7月7日に延期しますので、引き続きご協力をお願いします。

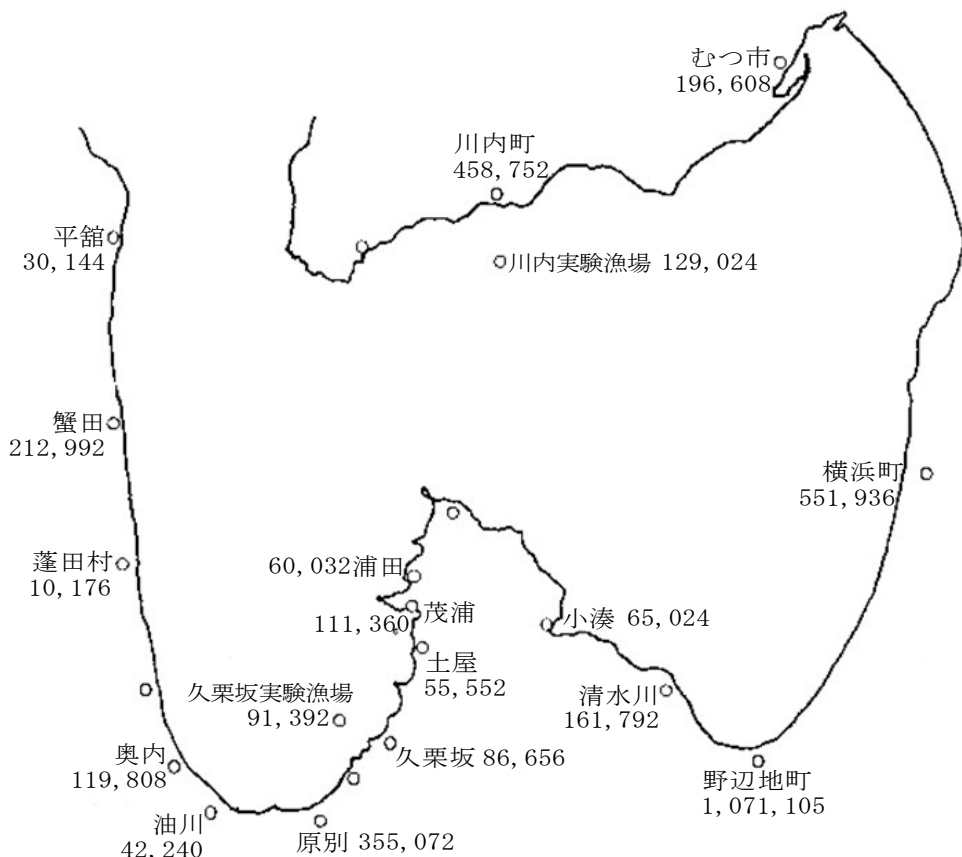


図1 漁協、支所別のホタテガイ付着数(個/袋)

表2 各ブイの1週間(6/5～6/11)の日平均水温

観測地点	水温(℃)	観測地点	水温(℃)	観測地点	水温(℃)
平館ブイ	10.9～14.6	東田沢ブイ	10.3～13.2	横浜ブイ	9.1～15.7
蓬田ブイ	13.2～14.0	清水川ブイ	-	浜奥内ブイ	9.0～14.9
奥内ブイ	11.7～15.5	野辺地ブイ	9.0～13.0	川内ブイ	14.0～15.3
青森ブイ	10.0～15.1	東湾ブイ	8.4～14.5	脇野沢ブイ	-
浦田ブイ	9.5～14.6				

-:欠測

